

NCD 小児外科領域リスクカリキュレータの実装(リリース)について

先般より NCD 小児外科領域会議等でご案内してまいりました小児外科領域における NCD Feedback 機能が令和 2 年 11 月 26 日に実装され、利用可能となりました。今回実装されたのは下記です。

①リアルタイムフィードバック

各症例登録画面の「術中情報」欄の最下段に、新たに「小児外科 リアルタイムフィードバック」のボタンが現れます。12 の小児外科術式※に関して、症例ごとの手術関連死亡、術後合併症の予測値 (%) を見ることができます。

②フィードバック機能

NCD ユーザー専用ログインページにログイン後、「各種通知」の右側にある「フィードバック機能」ボタンを押してアクセスします。

②-1 Risk Calculator (リスクカリキュレータ)

登録データに基づいて構築されたリスクモデルを用いて、手術を受ける患者様の死亡率や合併症発症率等の予測値を計算することができます。

②-2 施設診療科の患者背景とパフォーマンスの全国比較 (パフォーマンス指標)

患者の術前リスクに関する項目の集計結果、および、登録データに基づいて推定された自施設診療科のパフォーマンス (死亡率や合併症発症率など) を確認することができます。

※12 術式：消化管穿孔手術、イレウス手術、噴門機能再建、鎖肛根治術 (高位・中間位)、悪性腫瘍手術 (全摘・亜全摘)、肺切除術 (葉切除・区域切除)、漏斗胸手術、ヒルシュスプルング病根治術、胆道閉鎖根治術、胆道拡張症手術、腸回転異常症手術、気管形成術 (気管狭窄症手術)

それぞれの手順や画面のイメージは、第 10 回 NCD 小児外科領域会議資料 ([議題 2-2](#)) (学会 HP¥会員向けコンテンツ¥NCD-登録関連) から確認可能です (実装前のイメージになります)。また NCD でも、ユーザー向けの各種通知(症例登録システムログイン後に閲覧可能)に同様の案内が掲載される予定ですのでそちらもご参照ください。

ご使用いただいてのご質問・ご意見・ご要望は、学会事務局までお寄せください。

令和 2 年 11 月 27 日

日本小児外科学会
NCD 連絡委員会